

その後、一時は生活排水等で川が汚染され、魚が少なくなつたようだが、下水道が整備され、最近は少しではあるが、鮎が戻ってきている。



落合橋から

吉田川の桜

吉田町では、住民でつくる吉田夢づくり推進協議会が「吉田夢づくり計画」を策定していた。その取り組みの一つとして平成14年、堅田橋から上流1.3キロの吉田川沿いに117本の桜の木を植えている。その内の55本は、当時の相馬小学校の55名の生徒が植えた。子どもたちが大人になったら、どんな想いで大きくなった桜の木を眺めてくれるのだろうか。10年後ぐらいには、吉田川沿いは「ホタルの里」としてだけでなく、桜ロードとして、多くの人々に親しまれているに違いない。



「親子釣り大会」

写真提供：相馬公民館

川は友だち

この周辺は、これらの川を境に旧田鶴浜と旧七尾に分かれていた。しかし、昔から子どもたちは、川遊びを通して交流していたそうである。昨年10月の合併を機に相馬公民館と高階公民館では、お互いの行事に参加する交流を行っている。

5月は、二宮川での「親子釣り大会」、6月は、吉田川での「ホタルまつり」で交流している。今月は21日に「高階まつり」、秋は伊久留町ニコニコ農園での「秋の収穫祭」が予定されている。

今後も川を通して、子どもたちには自然を大切に育てる気持ちを育んでいってほしい。私たちは川を縁として「自然と人」、「人と人」との交流を大切にしていかなければならない。川はいつも傍にいる友だちであってほしいものである。

今月の 主要内容

CONTENTS

- 能登空港..... 4
- 介護保険制度改正..... 6
- 平成18年七尾市成人式のお知らせ..... 7

周辺マップ

